偏手段ニアラザルヤト思料セラル、モ結局本問題ガ中央委員會ニ於テ承認セラル、トナラバ之ニ服從スルノ止ムナキニ至ルベシ、然レ共本問題ノ如キ重大事項ヲ有耶無耶ノ裡ニ決行スルガ如キハ將來組合員全般ノ士氣ヲ衰シ延テハ總同盟ノ發展ヲ阻害スルニ至ルベキヲ以テ其ノ決行ト同時ニ中央委員會ヨリ確然タル宣言書ヲ發表セシムルノ要アリ」ト協議ノ結果之ヲ田井爲七ニ諾リタル處同人モ大勢ノ趣ク處如何トモスル能ハズ自由裁量ヲ俟ツトノ旨ヲ述ベ午后十一時無事散會セリ。

◎中央委員會開催ノ件

時　日　大正十四年三月廿七日　自午后三時　至午后九時三十分

場　所　大阪聯合會事務所樓上

參集者

本　部　鈴木文治、西尾末廣、赤松克麿（上條代理）

關東側　松岡駒吉、望月源次、小泉七藏

[illegible]

[illegible]

[illegible]